

湿地保全シンポジウム

日本のラムサール条約湿地 50から100へ

日時●2016年6月19日(日)13:30~16:30

会場●葛西臨海公園 鳥類園ウォッチングセンター レクチャー・ルーム
参加費●無料



三番瀬



愛知県表浜



吉野川河口



球磨川河口



泡瀬干潟

葛西海浜公園

日本のラムサール条約湿地は2015年に4カ所が新たに登録され、合計50カ所となりました。しかし、国内には、重要でありながらラムサール条約には未登録の湿地がまだ多くあります。環境省は重要湿地500を改訂し、今年4月に「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）」を公表しました。ラムサール条約では、条約締結国に、重要な湿地を登録するとともに、広く湿地の保全を進めることを求めています。

本シンポジウムでは、「日本のラムサール条約湿地 50から100へ」とのテーマを掲げ、日本の湿地保全の現況を確認し、さらに条約湿地を増やすとともに、湿地全体の保全を推進するためにはどうしたら良いかを考えます。

プログラム

I 基調講演

- 1) 生物多様性国家戦略とラムサール条約 …… 環境省野生生物課課長 奥田 直久
環境省によるラムサール条約推進の考え方・方策
- 2) 日本の重要湿地とラムサール条約登録湿地の現状と課題 …… 日本国際湿地保全連合所長 横井 謙一
公表された重要湿地から見る日本の湿地の現状とラムサール条約による湿地保全

II 登録を目指す湿地からの報告

ラムサール条約登録を目指している各地の湿地における活動の報告

- 1) 東京湾
 - ・葛西海浜公園・三枚洲 …… 日本野鳥の会東京 飯田 陳也
 - ・三番瀬 …… 三番瀬のラムサール条約登録を実現する会 立花 一晃
- 2) 愛知県表浜 …… 表浜ネットワーク代表 田中 雄二
- 3) 吉野川河口 …… とくしま自然観察の会世話人 井口利枝子
- 4) 球磨川河口 …… 八代野鳥愛好会会長 高野 茂樹
- 5) 泡瀬干潟 …… 泡瀬干潟を守る連絡会事務局長 前川 盛治

質問・意見交換

- 主催：ラムサール・ネットワーク日本／日本野鳥の会東京
- お問い合わせ（ラムサール・ネットワーク日本）
TEL/FAX 03-3834-6566 Eメール info@ramnet-j.org

JR京葉線葛西臨海公園駅下車
鳥類園ウォッチングセンターまで
駅から徒歩15分

